

## 水無川源流無名沢

1986年7月27日

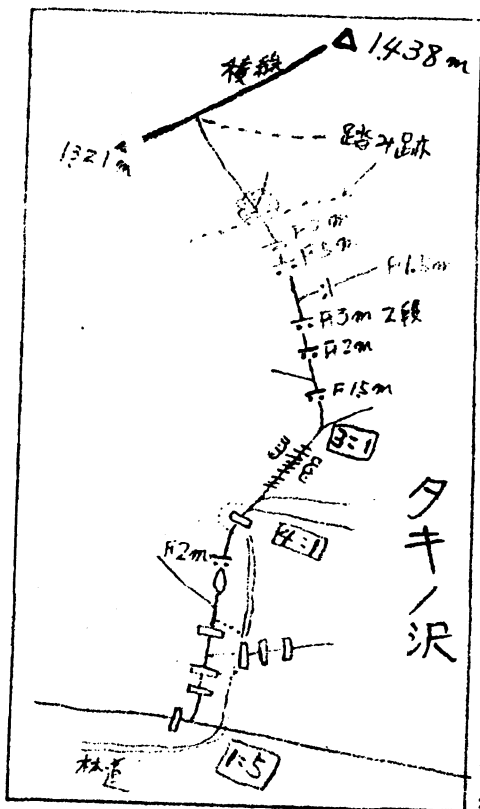
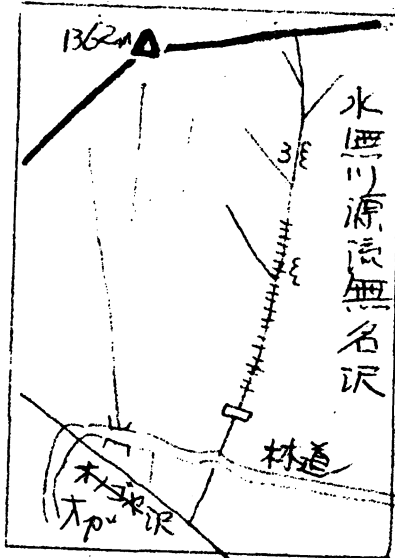
L

ヤブをこぎながら下降を開始し、10分程で沢となる。この沢は、水量は少なく上部はガレている。

途中からはナメがずっと続いている。最後に堰堤を越すと林道が見え、西さんが迎えに来てくれた。

(記・ )

[タイム] 下降開始(10:10)→林道(11:20)



## タキノ沢

1986年7月26日

L

オノゴヤ沢へ向かうパーティの車に同乗。途中で降りてもらい、小沢を下降し、ダム工事用と思われる林道を歩くと出合となる。

出合すぐいきなり大きな堰堤が現われたので、とりあえず林道を進むことにする。5分程歩くと、右から入る支沢に3つの堰堤が見える。この先にも堰堤がありそうだが、沢に入ることとし、先に進む。

最後の堰堤を越すと、右から2本の沢が入り、上部の二俣である。しばらく行くと、高さ5m、長さ20m程のナメとなり、次の二俣で沢は大きく左に曲がってゆく。その後何本かの滝が出てくるが、すべて直登で

きるものばかりである。

最後の滝を越すと、ヤブとなる。途中1カ所伐採のためのものと思われる踏跡をみて、40分くらいのヤブこぎで稜線となる。ここにも踏跡があり、伐採跡地となっている。ここで終了とする。

(記・